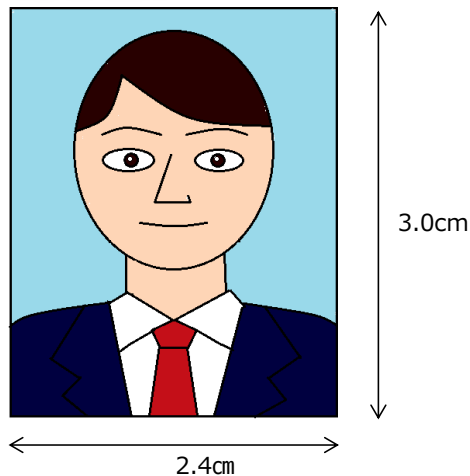


免許用写真の規格について

免許用写真とは

- ・申請前 6 か月以内に撮影
- ・無帽
- ・無背景（単色）
- ・正面
- ・上三分身（おおむね胸から上）
- ・縦の長さ 3.0 cm
- ・横の長さ 2.4 cm

という要件を満たすものをいいます。



免許用写真の規格について

1 無帽に関して

- ・ヘアバンドの使用は、その形態によりますが、一般的なものは認められます。
- ・かつら、ウィッグ、スカーフ（宗教上の理由で頭を覆うヒジャブ等）、医療用の帽子については、宗教上又は病気治療中等の理由がある場合は認められますが、顔の輪郭がわからない、つばが大きい等、個人識別に支障があるものは認められません。

2 無背景に関して

- ・無背景でも、背景の色が極端な色（赤や黒など）のものなど、背景の色がきつく、個人識別が容易でないものは認められません。

3 正面に関して

- ・ほぼ正面に近い状態であって、個人識別が容易にできるものであれば認められます。

4 上三分身（おおむね胸から上）に関して

- ・極端に顔だけが大きく写っている（または小さく写っている）もの、上半身のもの、手（の一部）が写っているものは、規定に合致しないため認められません。

5 写真の大きさに関して

- ・写真に枠があり、枠を含めての大きさが、縦 3.0 cm、横 2.4 cm の場合は、規定に合致しないため認められません。

6 その他規格に合わない写真

- ・ピントがずれているなど写真が不鮮明で、変色、傷、汚れ等がある
- ・口を開けている、目を閉じている、笑顔、泣き顔等
- ・画質が明るすぎる（または暗すぎる）
- ・眼鏡のレンズが反射して目が写っていない
- ・色付きの眼鏡（サングラス等）や眼鏡の形状によって、目（の一部）が隠れている
- ・前髪で目が隠れている
- ・顔に影がある
- ・整形手術等により、現在の容姿と著しく相違している
- ・衣類で顔（の一部）が隠れている
- ・合成写真または写真を加工・修正している
- ・カラーコンタクトで目の色が極端に違っている
- ・写真専用紙で印刷していない

等、個人識別に支障があるものは認められません。

※ 持参した写真が規格に合わない場合は、規格に合う写真を再度持参していただくか、総合交通安全センターや警察署の手続場所で直接撮影装置にて撮影することになります。